

# 令和8年度 事前準備の基本方針

令和8年3月25日

# 令和8年度 事前準備の基本方針

## I. 到達目標（令和9年度末）

令和9年度末までに、

- 破綻処理方式（「保険金支払方式」、「資金援助方式」、「金融危機対応」、「秩序ある処理」）に応じた破綻処理業務が即座に行えること。
- 具体的には、タイムラインマニュアル等を活用して、機構職員が破綻処理において以下の対応を行えること。
  - 貯金者に対しての説明が、状況に応じた的確に行える。
  - 管理人団となる系統職員に対して、個別な事象に対しても柔軟かつ総合的な判断に基づく具体的指示が出せる（差配できる）。
  - 行政庁や系統機関と必要な調整・交渉を行うことができる。

※行政庁および系統に対しても、破綻処理方式に応じた事前準備を働きかけること。



# 令和8年度 事前準備の基本方針

## Ⅱ 令和8年度の重点項目

### 1. マニュアル類の再構築

#### (1) 取組の趣旨

- 最新化されていないマニュアル類を一新し、破綻処理の経験がない者であっても「迅速に・漏れなく」なすべきことができるという観点から、実践的なマニュアル類を再構築。
- 令和7年度に取り組んだタイムラインマニュアル等の再構築に引き続き取り組むことに加え、管理人業務の手引きのアップデート及び拡充にも取り組む。

#### (2) 具体的内容

##### ① タイムラインマニュアル

- 機構での整理を完了した「資金援助方式」について、外部有識者からの意見を聴くとともに、関係機関と共有し、妥当性の検証や残された課題の解消を行う。
- 「保険金支払方式」、「金融危機対応」、「秩序ある処理」のタイムラインマニュアルについても、課題の整理や演習を実施し、初版を完成させる。



# 令和8年度 事前準備の基本方針

## ② 管理人業務の手引き

- 「資金援助方式」のタイムラインマニュアルの整備で解消した課題等を反映させつつ、最新の内容にアップデートする。
- 併せて、現地調査や有識者へのヒアリング等により、総合事業体である農協・漁協の信用事業以外の事業特性の把握・整理を完了する。

## ③ 運用のための解説、書式・様式例

- 「資金援助方式」について、引き続き、タイムラインマニュアルの整備で解消した課題等を反映させつつ、最新の内容にアップデートするとともに、未作成の書式・様式を整備し、整理を完了する。
- 「保険金支払方式」、「金融危機対応」、「秩序ある処理」についても、タイムラインマニュアルの機構内整理の完了に合わせ、整理を完了する。

# 令和8年度 事前準備の基本方針

## 2. 研修・訓練の体系化

### (1) 取組の趣旨

- 令和7年度に整理した研修・訓練（効果測定も統合）の方向性に沿って、その内容を研修・訓練計画として具体化・確定させる。
- 研修・訓練を実施し、必要に応じて研修・訓練計画の見直しを行う。

### (2) 具体的内容

- 令和7年度に整理した「研修・訓練の体系化の方向性」に沿って、外部有識者等の意見を聴いた上で、研修・訓練計画を策定する。
- タイムラインマニュアル等に基づき、一連の破綻処理に係る研修・訓練を実施し、必要に応じて研修・訓練計画を見直す。
- 破綻処理実務経験者や有識者を講師とする研修を実施する。

# 令和8年度 事前準備の基本方針

## 3. その他

### (1) 取組の趣旨

- 破綻処理の即応力を高めるため、マニュアル類の再構築、研修・訓練の実施に併せて、必要な取組を行う。

### (2) 具体的内容

#### ① 情報収集・分析の強化

- 経済や金融情勢の変化が組合の経営に与える影響について、情報を収集し、有識者の知見を必要に応じて活用しつつ、調査・分析を行う。

#### ② 過去資料のアーカイブ化

- 過去の破綻処理に関するノウハウを風化させないようにするため、資料の電子イメージ化、アーカイブ化を行う。

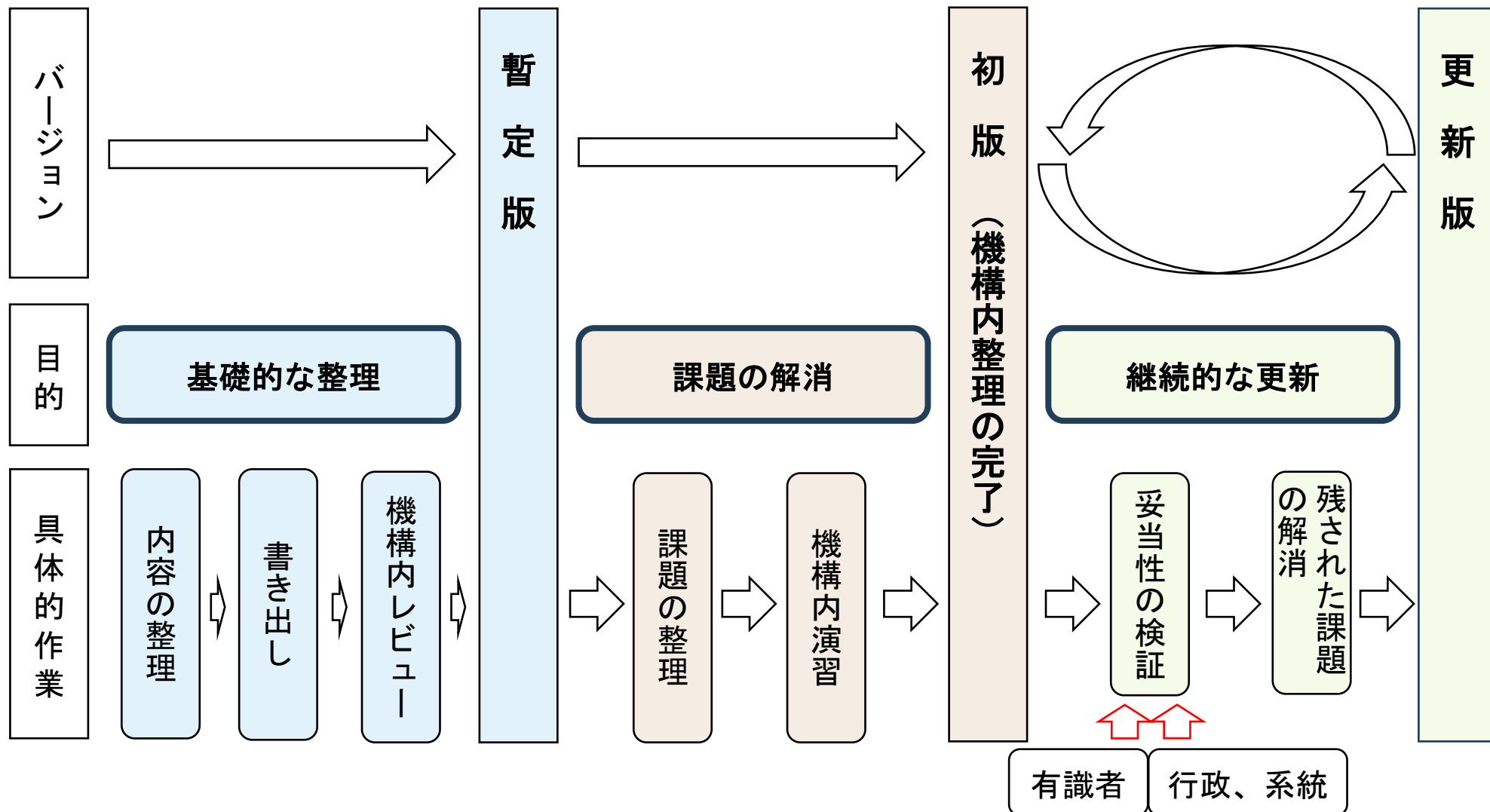
# 令和8年度 事前準備の基本方針

## 取組の全体像

タイムラインマニュアル ● : 「暫定版」完成  
★ : 「初版」完成

項目	R6まで	R7	R8	R9
1. マニュアル類の再構築				
(1) タイムラインマニュアル				
① 保険金支払方式		基礎的な整理	● 課題の解消 ★	継続的な更新
② 資金援助方式	基礎的な整理完了	● 課題の解消 ★		継続的な更新
③ 金融危機対応	基礎的な整理完了	● 課題の解消	★	継続的な更新
④ 秩序ある処理		基礎的な整理	● 課題の解消 ★	継続的な更新
(2) 運用のための解説				
① 保険金支払方式		基礎的な整理		継続的な更新
② 資金援助方式		基礎的な整理		継続的な更新
③ 金融危機対応		基礎的な整理		継続的な更新
④ 秩序ある処理		基礎的な整理		継続的な更新
(3) 書式・様式例				
① 保険金支払方式		基礎的な整理	整備 ★	継続的な更新
② 資金援助方式		基礎的な整理	★	継続的な更新
③ 金融危機対応		基礎的な整理	整備 ★	継続的な更新
④ 秩序ある処理		基礎的な整理	整備 ★	継続的な更新
2. 研修・訓練の体系化				
① カリキュラム作成		体系化、計画の策定		必要に応じて計画の見直し
② 研修・訓練（機構内）			機構内研修・訓練	
③ 研修・訓練（関係機関）		統合	破綻処理実務研修会（行政庁向け、系統機関向け）	
3. 知識・経験水準の見える化				
① 基準の策定		策定		
② 効果測定の実施			機構内研修・訓練後に実施	

# (参考) タイムラインマニュアルの整備手順



# (参考) 研修・訓練の体系化の方向性 (令和8年3月)

取組の趣旨

- 「訓練・研修の体系化」は、①貯保職員に**必要な知見**を明らかにし、②それを得るための**場**を**提供・紹介**し、③**理解度を測定**
- 研修・訓練の体系化により、**未経験者でも破綻処理業務への従事が容易化**

## 現 状

バラバラ

初任者研修  
OJT

【貯金払戻訓練】

【債権者説明会訓練】

【職員説明会訓練】

関連法令  
個別学習

破綻処理事例  
勉強会を実施

体系化

## 改 善 方 向

	①必要な知見	②場の提供・紹介	③理解度測定
基礎編	破綻処理方式の概要 信用事業の基礎知識 など	機構内研修 通信教育 など	確認 テスト
法令 事例 編	貯保法ほか関連法令 破綻処理事例 など	主務省・弁護士講義 破綻処理経験者講演 など	
実践 編	適時適切に動ける実践力 など	マニュアル類を活用 した実習訓練 など	

①必要な知見が不明確

②個別の研修・訓練のみの人材育成

③理解度は個人の主観

①必要な知見を明確化

②場の提供・紹介により計画的な人材育成

③理解度をテストにより客観化